

第60回中国・四国ブロック民俗芸能大会 教育長あいさつ

平成30年12月2日（日）
ひめぎんホール メインホール

本日は、中国・四国ブロック民俗芸能大会にお越しいただき、誠にありがとうございます。皆様方の御来場を心から歓迎いたします。

本大会は、昭和34年の第1回大会以来、中国・四国各県が持ち回りで開催しており、今回で60回目を迎える歴史ある大会です。愛媛県での開催は、平成21年の松山市での開催以来、9年ぶりとなります。

さて、民俗芸能は、それぞれの地域の歴史や生活の中から生まれ、世代を越えて現在まで大切に守り伝えられてきた貴重な「地域の宝」となっておりますが、近年の社会情勢の急速な変化に伴い、過疎化・少子高齢化の進展による担い手の減少や、地域の行事に対する人々の関心の低下などにより、地域によっては、その継承が危ぶまれている状況にあります。

しかし、民俗芸能は、これまでと変わらず、また将来に渡っても、人々の心のよりどころとなり、地域の伝統文化を再認識することで、人々の絆を強めるだけでなく、地域おこしやまちづくりの核となる重要な役割も担っており、引き続き地方創生のための魅力的な地域資源として活用されることが期待されております。

このような中、本大会において、中国・四国9県を代表する民俗芸能が一堂に会し、公開されますことは、誠に意義深いことであり、御来場の皆様方には、中国・四国各地の特色ある民俗芸能の魅力を御堪能いただき、それぞれの地域の歴史や習俗について知っていただくとともに、皆様がお住まいの地域の民俗芸能についても、改めて目を向け、その魅力や価値について考えていただく機会となれば幸いです。

また、中国・四国各県では、先の7月豪雨災害により、甚大な被害が発生いたしました。本大会の開催により、復興が進む被災地に安らぎと元気を与える一助となればと切に願っております。

最後になりましたが、中国・四国各県から御出演いただきました保存会の方々に厚く御礼を申し上げますとともに、文化庁、全国民俗芸能保存振興市町村連盟をはじめ各県の教育委員会、保存会所在地の市町村教育委員会、地元松山市の関係の皆様への御尽力に心から感謝申し上げます。大会のごあいさつといたします。